

# 番組審議会議事録

開催年月日：平成 25 年 5 月 14 日(火) 16 時 00 分～17 時 00 分

開催場所：割烹田園

委員の出席 委員総数 7 名

出席委員数 7 名

出席者の氏名： 藤波陽四郎（委員長）、早川令子（副委員長）、渡辺知尚、  
鈴木登、前沢幸雄、高山栄作、村重正明

欠席委員の氏名： なし

放送事業者側出席者： 石村比呂美、池田和隆、兼平健一

## 1. 議 題

- ・「かずさエフエム・エフエム甲府 情報交換コーナー」（2013 年 4 月 6 日放送）について

（早川 副委員長）

- ・とても面白い内容でした。
- ・エフエム甲府以外のコミュニティエフエムとも、同様のコーナーをしてもらいたい。
- ・この情報交換コーナーと同様の形式で、ゴールデンウィーク期間中の特別番組として、上総地域から足を運べる範囲、車で 1～2 時間以内にある複数のコミュニティエフエムと電話で結び、お互いの観光・イベント情報を交換できたら面白い内容になるのでは、と思いました。
- ・エフエム甲府のパーソナリティーがコーナー全体をリードしていたのが気になりました。

（渡辺 委員）

- ・ニュースや新聞報道のように編集したものと異なり、同時生放送ならではのコアな情報を紹介していて面白かったと思いました。

- ・リスナーが関心をもつコンテンツを探し、限られた時間内で紹介ができるように内容をまとめて話していて、苦労されているのではないかと感じました。
- ・様々な手法を用いてリスナーの関心を高めることに着目されたのは、とても良いと思います。
- ・相手のエフエム甲府のパーソナリティーの声が聞き取りにくかったり、BGMが急に終わってしまうところがあったのは残念でした。

(鈴木 委員)

- ・地域発信という役割があるなかで、他の地域と情報を交換することは意義があると思いました。
- ・エフエム甲府側が取り上げた「信玄公まつり」や「武者行列」といった大きなイベントに内容負けしてしまった感じが否めなかった。
- ・かずさエフエム側が東京ドイツ村について紹介した際、「東京ドイツ村までアクアラインから30分」ではなく、「東京ドイツ村までアクアライン出口から30分」と表現した方が、甲府のリスナーにも分かりやすく伝わるのでは、と思いました。

(前沢 委員)

- ・聴いてみて、紹介された場所・イベントに実際に行ってみたいなと思いました。
- ・「食」についての情報も紹介してもらいたかったです。

(村重 委員)

- ・自分自身の中でイベントの情景をイメージできるような内容で、良かったと思いました。
- ・もし可能であれば、エフエム甲府だけではなく、全国のコミュニティエフエムと同様のコーナーを行って、上総4市の情報を広めてもらいたいです。

(高山 委員)

- ・上総地域の情報を他の地域に発信できるのは、とても良いと思いました。
- ・エフエム甲府のパーソナリティーのリードが強かったなと感じました。
- ・県外の地域にもっと上総地域の情報を発信してもらいたいです。

(藤波 委員長)

- ・今回、かずさエフエムとエフエム甲府が紹介していたイベント・観光スポット情報は良く知っていることでしたので、聴いていて面白いと感じました。
- ・面白かったと思う一方、やや内容が盛りだくさん過ぎた感じもしたので、メインの話題となるものを絞って紹介した方が良いのでは、とも思いました。
- ・リスナーに聴いてもらい、知ってもらい、興味を持ってもらう仕組みを、もう一度考えていただき、このような情報交換コーナーをもっと他局と行ってもらいたい。

(放送事業者 石村)

- ・日本武尊に縁があるということで、毎月1回、生放送内でエフエム甲府と電話をつなぎ、お互いの地域の観光・イベント情報を交換しております。
- ・同様のコーナーを他局と行う場合、お互いに生放送を行っている時間帯であるというのが必要条件となります。

(放送事業者 兼平)

- ・今回は、たまたまエフエム甲府のパーソナリティーがコーナー全体をリードしていたものを審議していただいております。話題によっては、かずさエフエムのパーソナリティーがリードしてコーナー全体を進行しています。

- ・この情報交換コーナーは、電話回線でお互いのスタジオをつないでいるため、相手方の声が聞き取りにくくなる場合もございます。

以上